

◇試合

前半 10 分 ハーフタイム 5 分 後半 10 分

11:00 と 13:00 は全体で開始時間を揃える。他の試合は各コートで進める。

◇試合前

先に来たチームがコイントスを行う (A ライトはコインをフィールドに落とさないように)

ロボット 2 台、車検シート、チームプレート、チームキャプテンが来れば「チームが来た」とみなす

開始 2 分前時点で、2 チームそろっていない→すでに来ているチームだけで準備はじめる

余裕があれば、プッシングなどのルール確認を行う

遅刻… 1 分経過時点で相手に 1 点入る。5 分経過で 5-0 の没収試合。

どちらのチームも 5 分来なければ 0-0 の没収試合。

◇試合後

得点の確認→勝ちチームのコール→挨拶→キャプテンのサイン→チームメンバーは握手

試合終了後は、なるべくチーム全員そろって挨拶をする

◇試合中

・ ボールが完全に停止した状態、ロボットが挟み込んでいる、すべてのロボットがボールを見つけない場合
試合進行の停止として最寄りの空いている中立点へボールを移動させる

中立点に戻しても見つけない→反対側の中立点に置く→中央中立点→リスタート

(リスタート・・・両者守備側でキックオフする)

判断が難しい場合 (ゴール前攻防など)

20 カウントする (20 秒とは限らない。試合中カウントのスピードを変えない)

(A コートで) ボールを挟み込んだあと、掻き出しをしそう→キャプテンに確認を取る。掻き出しができるなら
待ってあげる

・ ゴール

ボールがゴールに完全に入った状態。ゴール上のバーを目安

どちらのチームが得点したのかを宣言する

・ 故障

ボールに反応しない、ゴールに何度も入る、一人で転倒するなどの場合

キャプテンが故障を申請した場合→理由を説明させる。説明できたら故障を認める。

何度も同じ故障→教育的指導を行う

少しのパーツ欠落は故障ではない、落ちているパーツは邪魔なので拾う

コードが飛び出ているなどは、他のロボットに迷惑なので故障

ひっかかって動かないロボットに手出しをしない

ロボットが複数引っかかっている、かつその中で故障ロボットが出た場合故障ロボットを出す

→引っかかりがわずかなものは、主審がとってあげて故障車を退場させる

→ロボット同士が激しく絡まっていて一台だけ出せない場合、絡まったロボットも故障

ロボットを移動させるときはハンドルを持つ

・ペナルティ

1分退場。副審カードなどで故障と区別はしない。

フライング、主審の許可無く途中でロボットに触る、マナー違反、ボール・コート・ロボットを傷つける
ただし、プッシングによるノーゴールの時に勘違いしてロボット止めた時はその場ですぐ再開させる。

・2台とも退場した場合

1チームから2台ともいなくなった時点で相手に1点入る。この時点でロボットをすべて止める。1分経過ごとに1点入る。5分経っても戻らなければ、それまでの得点にかかわらず5-0で没収試合とする。

途中でハーフタイムに入ったら、時間のカウントはリセットされる。後半再開後5分経過しても戻ってこなければ没収試合。

4台ともいない場合 1分で両チームに1点入る。

・故障・ペナルティから復帰する場所

撤去された位置に最も近い中立点。試合の状況により有利不利が生じないところを指定。

ボールに近くない、ゲームに影響しない場所から復帰する

ゴールキーパー

自チームのロボットがディフェンス側のペナルティエリア内に完全にいった時、ゴールキーパーとなる

プッシング

攻撃側のロボットにボールが触れている状態で攻撃側のロボットがゴールキーパーを押した場合

近くの中立点へ移動、プッシングと判断した後にゴールが入ってもノーゴール

例:2台のロボットがボールを挟み込んでおり、片方がゴールキーパーならプッシング

ダブルディフェンス

ディフェンス側の2台がどちらもペナルティエリア内に入ってしまったとき

片方のロボットを中央中立点へ移動

プッシングとダブルディフェンスが同時に起こった場合プッシングを優先する

没収試合

遅刻または試合中に1チームの2台ともが5分間いなかった時、没収試合となる

没収試合は5-0もしくは0-0の得点しかない。

2台とも故障の扱い

教育的指導をしている機体から故障させられた場合→相手による故障とする

2日目

サッカーB 審判周知事項

車検証の管理の徹底を選手に再確認する。無い場合は故障扱い。審判は試合ごとのチェック項目にチェックする。

コート周辺の荷物やキャプテン以外のチームメンバーについては、試合前に説明する。

(周囲の移動を確保する、荷物を置かない。) その後、問題発生の場合は警告。

同じチーム2台故障時に1点。1分経って故障ロボットをコートに出すときに1点追加(合計2点)でスタート。

ボールに乗り上げる場合、故障扱い。故障対応せずに乗り上げた場合も再度故障扱い。

ボールの破損はそのチームのロボットが明らかに壊したと認められる場合、イエロー

両チームがフライングした時は、最初にフライングした方に警告。

スタート時、ドリブラー(アクチュエーター)が動いているのは違反。フライング処理する。

ロボットにより審判のけがは、審判裁量。

レーザー光は使用禁止

審判がゴール宣言していないのにロボットに触った場合、警告。